

【住民の消火活動に感謝状を贈呈】

去る5月6日の午前、高橋三区で民家火災が発生しました。近隣の住民が火災を発見、消防署へ通報するとともに現場近くの消火栓からホースをつないで放水、延焼を食い止めていただきました。この度、この消火活動を行った住民5名に対して、亀岡消防署から感謝状が贈呈されました。

山間部にある畑野町は、消防車輛が駆け付けるまでには時間を要するため、自主防災組織での活動が大切とされるところです。

今回の消火活動も、これまでの初期消火訓練が功を奏したもので、これからも地域を守るため、防災訓練・防火訓練を継続して実施していただけるよう努めてまいります。

民家火災消火で感謝状
亀岡消防署 住民5人に



亀岡消防署は28日、山間部の畑野町では、消防車はすぐに駆け付けられず、今回も到着まで約30分かかった。5人は現場近くの消火栓から備え付けの20呎のホースを2本つなぎ合わせて放水するなどして、延焼を食い止めた。

高橋二区公民館で行

亀岡市畑野町で6日に発生した民家火災で消火活動を行った地域住民5人に感謝状を贈った。表彰されたのは、田原道行さん(68)、上平雅洋さん(68)、石野一哉さん(65)、東島勝幸さん(75)、永井秀雄さん(75)。

亀岡消防署から感謝状を受け取る住民たち
(亀岡市畑野町・高橋二区公民館)

(5月29日付け 京都新聞)

われた贈呈式で、菊井誠署長から感謝状を手渡された。石野さんは「消火栓やホースの場所をみんなで共有していた。今後も連携して地域を守りたい」と話していた。

(竹下大輔)

9月には、畑野町自主防災会として水害を想定しての土のう作成訓練や避難所開設訓練などのを計画していますが、各区においても消火訓練等実施いただけるようお願いします。

また、10月には、消防表彰調査(優秀表彰まとい)を実施して、住民の防災・防火意識を高める計画でありますので、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。